

学校でも「ごみ減量」学んでいます!

まち美化推進課ではさまざまな活動団体と一緒に、市内小・中学校で環境に関する出前授業を行っています。

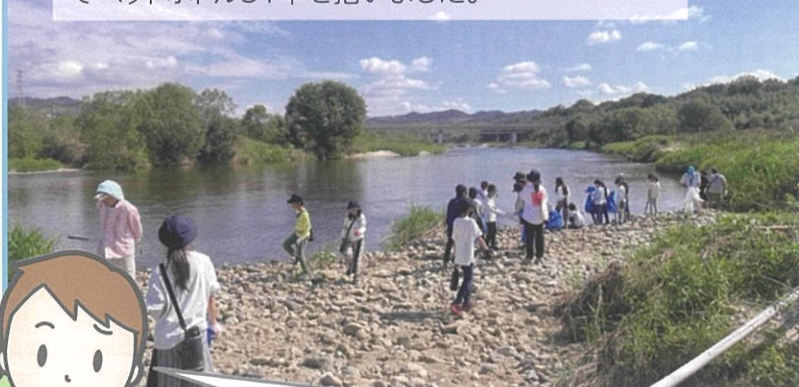
ごみ減量の授業では、ざつ紙や食品ロス、海洋汚染につながるプラスチックごみなどをテーマに取り上げています。令和5年度(令和6年1月末時点)では、14校延べ132クラスで実施しました。

みんなで地球の未来を考えよう



川ごみ調べ

木津川で川ごみ調査を実施。1時間ほどの清掃でペットボトル31本を拾いました。



環境・生き物を大切にするために、自分はポイ捨てをしないように気をつけたい。

海・川・湖などのごみを拾って海や水の中で生きている生き物たちを助けたい! と思いました。



木津小学校

ごみの分別

木津川市のごみ分別について授業を実施。分別の大切さや、ごみを減らす方法を考えました。



城山台小学校

食べ残しをせず、ごみの分別をしてごみを減らそうと思います。



南加茂台小学校

食品ロスについて

食品ロスについての授業を実施。可燃ごみに含まれる手付かず食品には驚きの声がたくさん。

出前授業は下記の団体にご協力いただいています。

木津川市子どもエコクラブサポーターの会、木津川を美しくする会、淀川管内河川レンジャー、NPO法人手をつないで、瓶原土地改良区、(株)エム・シー・エス、京都府地球温暖化防止活動推進センター(ほか(順不同))

令和5年4月～令和5年11月までの一日1人あたりの可燃ごみ排出量は、平均すると**397.7g**
令和7年度の目標数値(**326g**)まであと**71.7g**です!

事故防止のため、出し方にご注意ください!

回収されるごみの中に、中身の残ったスプレー缶やガスボンベ・ライター、充電式バッテリー(リチウムイオン電池等)、乾電池などが混入していることが度々発見されています。

可燃ごみやビニール・プラスチック容器包装などは**パッカー車**で圧縮しながら回収するため、これらの中に混入しているとガスが漏れたり、電池のショートにより**爆発や火災**が起こります。また、燃やさないごみ、粗大ごみに混入した場合も、**処理工場の事故や火災**に繋がります。

「資源として適切にリサイクル」し、「これからの環境」と「収集・処理するひとの安全」を守るために、適切な処理・分別をお願いします。

ガスボンベ スプレー缶 ライター

中身を完全に使い切って、ガス抜き後、穴をあけて「燃やさないごみ」へ。



乾電池

市役所・支所、スーパーや集会所、公民館などに設置している「乾電池回収ボックス」へ。



小型充電式バッテリー



Ni-Cd



Ni-MH



Li-ion

ニカド電池 ニッケル水素電池 リチウムイオン電池

市役所・支所・出張所に設置している「小型充電式電池回収ボックス」へ。

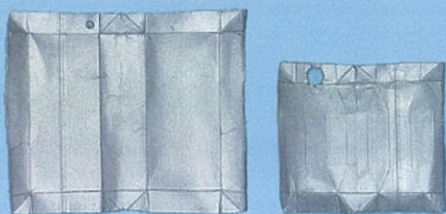


裏が銀色の紙パック、市役所で回収しています。

○ 回収対象物

裏が銀色のアルミ付きの紙パック(野菜ジュース、豆乳、酒などの紙容器)

- キャップやストローは取り除いてください。
- メーカー、購入場所は問いません。



開いて



洗って



乾かして



トイレトーパーや段ボールなどに生まれ変わります



市役所本庁舎の東側入口すぐに、回収ボックスを設置しています。
お立ち寄りの際はぜひご利用ください。

× 回収対象外

- 洗剤、シャンプーなど食品・飲料以外の紙容器
- 紙でない容器(プラスチックなど)



MOTTAINAI便りVol.27(令和5年10月号)にて、以下の数値に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

●裏面下部 令和4年度可燃ごみ袋有料化の収支に係る表

(表 最上段) 家庭系可燃ごみ袋販売収入 訂正前: 103,230千円 訂正後: 103,141千円

(表 最下段) 収支 訂正前: 47,451千円 訂正後: 47,362千円

【令和6年2月発行】

〈問い合わせ先〉〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9 木津川市役所 市民部 まち美化推進課
TEL:0774-75-1215(ダイヤルイン) FAX:0774-72-3900 Mail:machibika@city.kizugawa.lg.jp

※この「MOTTAINAI便り」は、循環型社会推進事業の一環として、ごみの「減量」・「再資源化」につながる身近な情報などを隔月で市民の皆さんにお知らせする情報紙です。不要になりましたら、「雑がみ」として古紙回収にお出しいただき、リサイクルにご協力くださいますようお願いいたします。